

【主題名】親切にすることのよさ

【親切・思いやり】 B-（6）

【教材名】拾ったりんご

【本時のねらい】

これまでに「落ちていたきっぷ」で親切について考え、相手の置かれている状況を自分のこととして想像することの大切さや、思いやる心のよさを学習している。本時では、りんごを拾った時の気持ちを振り返るタクちゃんの心の変化を共感的に理解することを通して、親切にすることのよさを知り、思いやりの心を大切にする道徳的心情を育む。

【指導の要点】

拾ったりんごを返してあげただけで、良いことをしよう、親切にしようという気持ちがなかったにも関わらず、そのことを大変感謝しているおばあさんのことを知ったときのぼくのあたたかい気持ちは何かを考えさせる。主人公への自我関与を通して、相手の役に立てた事の喜びに気付かせ、考えを深めさせたい。

【主題に関わる児童生徒の実態】※箇条書きでも可

- ・本学級の児童は、困っている友だちを気にかけるなど優しい関わりができる。
- ・学級の少人数の中で助け合おうとする姿も見られるが、自己中心的なところもまだあり、友だちのことを考えて行動することが難しい。
- ・何でもできる児童がやってあげたり、教えてあげたりすることが多いなかで、親切な行為を人任せにしてしまっているところもある。
- ・お互いが思いやりの気持ちを持ちながら人間関係を築き、さらにこれから様々な人と関わるようになってほしい。

【授業を通して引き出したい児童生徒の考え（例）】

- ・だれかに喜んでもらえるって、うれしい。
- ・親切にしたい気持ちはなかったけど、結果的に親切だったと思う。
- ・親切っていいな。
- ・親切にして、人の役に立てたらうれしい。
- ・自分が親切にしたいと思った事で、相手も親切にしてもらって嬉しいと思うのが本当の親切。
- ・はじめから、困っているおばあさんに気付いたらよかったな。
- ・これから、相手のことを考えた親切がしたいな。

指導上の工夫

板書計画（ポイントのみ）

<p>自分自身との関わりで考えるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これは親切なのかと問うことで、親切といえるのか心情メーターを使って自分の考えを示すことができるようにする。 ・タクちゃんの表情絵を板書に位置づけ、その場面の状況を思い出したり、心情を考えたりする手助けとなるようにする。 	<p>The diagram illustrates a lesson plan for '拾ったりんご' (Found Apple). It features a central vertical double-headed arrow labeled '心情メーター' (Mood Meter). At the top of the arrow is a box labeled '親切' (Kindness), and at the bottom is a box labeled '親切ではない' (Not Kindness). To the left of the arrow, there is a drawing of a character's face with a sad expression, labeled 'タクちゃん' (Takuchan), with a box below it saying 'へんな気持ちになった。' (I became a weird feeling). To the right of the arrow, there is a drawing of a character's face with a happy expression, labeled 'おばあさんの投書' (Grandmother's letter), with a box below it saying 'おばあさんの投書' (Grandmother's letter). There are also several boxes labeled '挿絵' (Illustration) placed around the diagram. On the far right, there is a vertical label 'テーマ 親切' (Theme: Kindness) and the title '拾ったりんご' (Found Apple).</p>
<p>多面的・多角的に捉えるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんとタクちゃんの気持ちを対比させることで、親切にする方、親切にされる方の立場から考えられるようにする。 ・本時の振り返りで、友だちの考えから親切についての考えを深める。 	
<p>主題に迫るための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タクちゃんの胸に込み上げてきた温かいものは何か問うことで、相手の役に立てたことの喜びに気付かせ、親切についての考えを深めさせたい。 ・親切とはどういうことかと問うことで、親切にすることのよさについて考え、今後の実践意欲を持てるようにする。 	

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
導入	1. これまでに学んだ親切について考えたことを発表する。 2. 教材を読んで感想を伝え合う。 ・疑問に思ったり、興味を持ったりしたところから学びに入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを想像することが大切。 ・親切は自分も相手もうれしい気持ちになる。 ・おばあさんは親切にしてもらってうれしかったと思う。 ・新聞にのって、うれしかったと思う。 ・これって親切なのかな。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">親切</div>	
展開	3. 教材を読んで話し合う。 ○投書に書かれた、おばあさんの「幸せな思いをかみしめた」とは、どんな思いかな。 ○タクちゃんが、だんだんへんな気持ちになってきたのは、どうしてかな。 ○これは、「親切」といいかな。 ・心情メーターで考えを示し、話し合う。 ◎タクちゃんの胸に込み上げてきた「あたたかいもの」は何かな。 4. 親切について考える。 ○親切ってどういうことかな。	<ul style="list-style-type: none"> ・親切にしてもらってうれしい。 ・とても助かった。ありがとう。 ・おばあさんに悪いな。 ・そんなにほめられる事をしたのかな。 ・楽しかったから拾っただけ。 ・親切にしようと思って拾っていない。 ・おばあさんにとっては、うれしいことだったから親切だと思う。 ・喜んでもらって、ぼくもあたたかい気持ちになっているから親切だと思う。 ・親切にしようという気持ちはなかったけど、結果的には親切だと思う。 ・相手のことを想像して行動していないから親切ではない。 ・面白がっていたから、親切ではない。 ・おばあさんに喜んでもらったことがうれしかった。 ・人の役に立てて、親切っていいなと思った。 ・親切にするつもりはなかったけど、感謝されてよかった。 ・はじめから、困っているおばあさんに気付いたらよかったな。 ・相手のことを想像しないと親切はできないと思っていたけど、こんなこともあるんだな。 ・自分が親切にしたいと思った事で、相手も親切にってもらって嬉しいと思うのが本当の親切。
	5. 学習を振り返る。 ・「親切」について考えたことをワークシートに書いて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・親切にして、人の役に立てたらうれしい。 ・これから、相手のことを考えた親切がしたいな。
終末		

【評価の視点】

- 自 親切とは何か様々な視点で考えを交流するなかで、親切にすることのよさに対する実感を深めている。
- 多 おばあさんとタクちゃんの気持ちを対比させるなかで、親切にする方、親切にされる方の立場から親切についての考えを深めている。